

# レジメと論文の書き方

西洋文化史演習 I

# レジメの書き方

# レジメの書き方

- ◎ 発表日時を記入

# レジメの書き方

- ◎ 発表日時を記入（レジメの右上）

# レジメの書き方

発表日時

20 Dec. 2009

○ アクロポリスと近代

○ 中井義明（同志社大学）

○

○ 1. はじめに

○ ピエール=ノラ

○ ピエール・ノラ編（谷川稔監訳）『記憶の場—フランス

○ 国民意識の文化—社会史（1）～（3）』

○ （2002～2003年）、岩波書店

○ Pierre Nora (éd.), *Les Lieux de mémoire I: La*

○ *République*, Gallimard, 1984

○ 記憶は作られる

○ 近代の意識：国民統合のシンボル

○ フランス史の文脈

○ シュトラスブールの例

○ エフェソスの例

# レジメの書き方

- ◎ 発表日時を記入（レジメの右上）
- ◎ 発表テーマ

# レジメの書き方

- ◎ 発表日時を記入（レジメの右上）
- ◎ 発表テーマ（レジメの左側あるいは中央）

# レジメの書き方

テーマ

20 Dec. 2009

○ アクロポリスと近代

○ 中井義明（同志社大学）

○

○ 1. はじめに

○ ピエール=ノラ

○ ピエール・ノラ編（谷川稔監訳）『記憶の場—フランス

○ 国民意識の文化—社会史（1）～（3）』

○ （2002～2003年）、岩波書店

○ Pierre Nora (éd.), *Les Lieux de mémoire I: La*

○ *République*, Gallimard, 1984

○ 記憶は作られる

○ 近代の意識：国民統合のシンボル

○ フランス史の文脈

○ シュトラスブールの例

○ エフェソスの例



# レジメの書き方

- ◎ 発表日時を記入（レジメの右上）
- ◎ 発表テーマ（レジメの左側あるいは中央）
- ◎ 発表者名

# レジメの書き方

- ◎ 発表日時を記入（レジメの右上）
- ◎ 発表テーマ（レジメの左側あるいは中央）
- ◎ 発表者名（学籍番号と氏名）

# レジメの書き方

- ◎ 発表日時を記入（レジメの右上）
- ◎ 発表テーマ（レジメの左側あるいは中央）
- ◎ 発表者名（学籍番号と氏名）又は（所属）

# レジメの書き方

20 Dec. 2009

発表者名

◎ アクロポリスと近代

◎ 中井義明（同志社大学）

◎

◎ 1. はじめに

◎ ピエール=ノラ

◎ ピエール・ノラ編（谷川稔監訳）『記憶の場—フランス

◎ 国民意識の文化—社会史（1）～（3）』

◎ （2002～2003年）、岩波書店

◎ Pierre Nora (éd.), *Les Lieux de mémoire I: La*

◎ *République*, Gallimard, 1984

◎ 記憶は作られる

◎ 近代の意識：国民統合のシンボル

◎ フランス史の文脈

◎ シュトラスブールの例

◎ エフェソスの例

# レジメの書き方

- ◎ 発表日時を記入（レジメの右上）
- ◎ 発表テーマ（レジメの左側あるいは中央）
- ◎ 発表者名（学籍番号と氏名）又は（所属）
- ◎ 問題提起

# レジメの書き方

20 Dec. 2009

- アクロポリスと近代

- 問題提起

- 中井義明（同志社大学）

- 1. はじめに

- ピエール=ノラ

- ピエール・ノラ編（谷川稔監訳）『記憶の場—フランス国民意識の文化—社会史（1）～（3）』（2002～2003年）、岩波書店

- Pierre Nora (éd.), *Les Lieux de mémoire I: La République*, Gallimard, 1984

- 記憶は作られる

- 近代の意識：国民統合のシンボル

- フランス史の文脈

- シュトラスブールの例

- エフェソスの例

# レジメの書き方

- ◎ 発表日時を記入（レジメの右上）
- ◎ 発表テーマ（レジメの左側あるいは中央）
- ◎ 発表者名（学籍番号と氏名）又は（所属）
- ◎ 問題提起
- ◎ 先行研究紹介

# レジメの書き方

- 2. 金沢城の五十軒長屋  
作られる過去  
観光
- 金沢城復元基本方針検討委員会、『金沢城  
復元基本方針検討委員会報告書』、平成  
17年3月。



# レジメの書き方

- ◎ 3. 平城宮社の大極殿
- ◎ 奈良市文化経済部観光課、『奈良市入込観光客数調査報告：平成17年』

# レジメの書き方

- ◎ 4. ポンペイの観光
- ◎ Barbie Nadeau, 'Selling Pompeii', *The Annotico Report*, April 14, 2008.
- ◎ 小野田哲弥・井上裕史、「海外都市のブランド分析ーインターネット社会調査データのSOMによる可視化ー」『第10回 観光に関する学術研究論文』、2004年、1-15頁。

## レジメの書き方

- ◎ 5. ゲミレル島：サンタ=クロースの島
- ◎ Sh. Tsuji (ed.) , *The Survey of Early Byzantine Sites in Ölüdeniz Area (Lycia, Turkey). The First Preliminary Report.* 『大阪大学文学部紀要』 35 (1995).
- ◎ 益田朋幸、「ゲミレル島遺跡（トルコ、リキア地方）と周辺のビザンティン銘文」、137-8頁。
- ◎ 朝日新聞、「トルコ：時空を超える旅」、2003年5月21日夕刊。

# レジメの書き方

- ◎ 6. アクロポリス
- ◎ Alexandra L. Lesk, *A Diachronic Examination of the Erechtheion and its Reception*, Ph.D (Univ. of Cincinnati). 2004, pp.653-687.

# レジメの書き方

- ◎ 発表日時を記入（レジメの右上）
- ◎ 発表テーマ（レジメの左側あるいは中央）
- ◎ 発表者名（学籍番号と氏名）又は（所属）
- ◎ 問題提起
- ◎ 先行研究紹介
- ◎ 本論

# レジメの書き方

- ◎ 発表日時を記入（レジメの右上）
- ◎ 発表テーマ（レジメの左側あるいは中央）
- ◎ 発表者名（学籍番号と氏名）又は（所属）
- ◎ 問題提起
- ◎ 先行研究紹介
- ◎ 本論（3～4部構成）

# レジメの書き方

- ◎ トルコ時代
- ◎ 城塞・火薬庫・モスク・住宅（エレクトェイオンの東側にトルコ時代の家屋やドーム、火薬庫）
- ◎ 独立戦争による破壊  
瓦礫の山

# レジメの書き方

- ◎ 近代ギリシアのシンボルとしての復元
- ◎ 1834年7月末にクレンツェがナフプリオンのギリシア政府に提案
- ◎ 「後世の建築物を撤去し古代の記念碑的建造物、とりわけパルテノンを再建する（wieder aufzubauen）」



# レジメの書き方

- ◎ 1834年7月31日／8月12日の勅令  
    主要な目的はパルテノンの再建
- ◎ 1834年9月5日付のクレンツェの文書

# レジメの書き方

- ◎ 1834年9月18日のクレンツェの文書
- ◎ “Zuerst würde dann der Parthenon aufgedeckt und restaurirt,..... Nach dem Parthenon würde dann das Plateau des Felsens gegen Westen, wohin das Museum gebaut werden soll, dann das Erechtheion und endlich die Propyläen mit ihren Umgebung ab- und ausgeräumt und in der obenangeführten Art restaurirt werden.”



史料の挿入

# レジメの書き方

- ◎ 発表日時を記入（レジメの右上）
- ◎ 発表テーマ（レジメの左側あるいは中央）
- ◎ 発表者名（学籍番号と氏名）又は（所属）
- ◎ 問題提起
- ◎ 先行研究紹介
- ◎ 本論（3～4部構成）
- ◎ 結論

# レジメの書き方

- ◎ 発表日時を記入（レジメの右上）
- ◎ 発表テーマ（レジメの左側あるいは中央）
- ◎ 発表者名（学籍番号と氏名）又は（所属）
- ◎ 問題提起
- ◎ 先行研究紹介
- ◎ 本論（3～4部構成）
- ◎ 結論（または展望）

# レジメの書き方

- ◎ 発掘の結果
- ◎ “So übergiebt Hellas der civilisierten Welt die Akropolis als ein vornehmes, von allem Barbarentum gereinigtes Denkmal des griechischen Geistes, als eine ehrwürdige und eizigartige Schatzkammer erhabener Werke der antiken Kunst, welche alle Kulturvölker ohne Unterschied einlädt zum *Studium, zur Mitarbeit und zum edlen Wettstreit* behufs Förderung der archäologischen Wissenschaft!”,  
Ἄρχ. Δελτίον (1890), S.3.

# レジメの書き方

- 発表日時を記入（レジメの右上）
- 発表テーマ（レジメの左側あるいは中央）
- 発表者名（学籍番号と氏名）又は（所属）
- 問題提起
- 先行研究紹介
- 本論（3～4部構成）
- 結論（または展望）
- 参考文献表

# レジメの書き方

- ◎ 参考文献表
- ◎ アクロポリスについて
- ◎ Panagiotis Cavvadias, *Die Ausgrabung der Akropolis vom Jahre 1885 bis zum Jahre 1890*, Athens, 1906.
- ◎ Ministry of Culture Committee for the Preservation of the Acropolis Monuments, *The Acropolis at Athens: Conservation Restoration and Research 1975-1983*.
- ◎ E. Yalouri, *The Acropolis: Global Fame, Local Claim*, Berg, Oxford/ New York, 2001.
- ◎ <http://www.ahistoryofgreece.com/photos/parthenon-destruction.htm>
- ◎ [http://www.agiasofia.com/megali\\_idea/megali\\_idea.jpg](http://www.agiasofia.com/megali_idea/megali_idea.jpg)
- ◎ 周藤芳幸・村田奈々子『ギリシアを知る事典』東京堂出版、2000年、12頁；254頁。